

平成19年度 第1四半期決算
Conference Call

平成19年7月30日
塩野義製薬株式会社





Agenda

■ 平成19年度 第1四半期決算の概要	ページ
■ 経営成績	2
■ 財政状態	3
■ キャッシュ・フローの状況	4
■ セグメント別売上高	5
■ 損益計算書概要	6
■ 損益計算書の主なポイント	7
■ パイプラインの進捗状況	8



平成19年度 第1四半期決算：経営成績（連結・単体）

（単位：億円）

<連結>

	19年4-6月 実績	18年4-6月 実績	対前年同期 UP率%
売上高	502	461	8.7
営業利益	79	52	53.4
経常利益	85	51	66.2
当期純利益	53	30	76.2

<単体>

売上高	481	443	8.7
営業利益	73	43	69.3
経常利益	86	49	73.9
当期純利益	54	27	101.7



平成19年度 第1四半期決算：財政状態（連結）

（単位：億円）

＜財政状態＞		19年6月期 実績	19年3月期 実績	増減
総	資産	4,289	4,295	△ 6
純	資産	3,486	3,457	29
自己資本比率		81.2%	80.4%	+ 0.8%
1株当り純資産		1,023円19銭	1,014円73銭	8円46銭

■ 総資産

- 前期利益にかかる法人税の支払いや配当金の支払い等により現預金が減少したが、設備投資に伴う有形固定資産の増加等により、総額はほぼ横ばいで推移。

■ 純資産

- 配当金の支払いがあったものの、当期純利益の計上により総額で増加。



平成19年度 第1四半期決算：キャッシュ・フローの状況(連結)

(単位：億円)

<キャッシュ・フローの状況>	19年4-6月 実績	18年4-6月 実績	増減
営業活動によるC / F	3	△ 18	21
投資活動によるC / F	△ 19	△ 37	18
財務活動によるC / F	△ 29	△ 36	7
計	△ 45	△ 93	48
現金等期末残高	700	667	-

■ 営業キャッシュ・フロー

- 前期利益にかかる法人税の支払い等により、営業活動によるキャッシュ・フローが3億円の増加にとどまった。



平成19年度 第1四半期決算：セグメント別売上高（連結）

（単位：億円）

	19年 上期 計 画	19年 4-6月 実 績	対上期 進捗率%	18年 4-6月 実 績	対前年 同 期 UP率%
医療用医薬品	758	378	49.9	379	△ 0.1
フロモックス	135	65	48.1	71	△ 8.5
フルマリン	62	30	48.5	34	△ 11.9
塩酸バンコマイシン	55	30	54.9	37	△ 19.0
イムネース	57	32	55.4	30	4.7
リンデロン等外用	52	27	51.1	27	△ 1.6
クラリチン	34	16	48.4	14	20.9
オキシコンチン	29	16	55.3	13	22.2
クレストール	42	19	45.1	1	-
アベロックス	13	4	28.2	7	△ 47.2
フィニバックス	15	5	35.2	5	16.6
輸出・海外事業	30	15	51.3	12	28.3
製造受託	25	9	39.6	8	26.8
一般用医薬品	31	14	47.4	15	△ 4.0
診断薬	18	9	51.4	9	3.8
工業所有権等使用料収入	145	69	47.6	33	107.8
クレストール	135	67	49.5	31	112.8
不動産賃貸・その他	43	5	12.4	6	△ 9.9
合計	1,050	502	47.8	461	8.7

※ 医療用医薬品の製品別売上高は単体売上高



平成19年度 第1四半期決算：損益計算書概要（連結）

（単位：億円）

	19年上期 計 画	19年4-6月 実 績	対上期 進捗率%	18年4-6月 実 績	対前年同期 UP率%
売上高 (ロイヤルティ)	1,050 (145)	502 (69)	47.8 47.6	461 (33)	8.7 (107.8)
	32.4 (37.6)	32.1 (37.2)		33.5 (36.1)	
売上原価	340	161	47.4	154	4.0
売上総利益	710	341	48.0	307	11.1
	51.0	52.0		55.2	
販売費・一般管理費	535	261	48.8	254	2.4
販売・管理費	330	163	49.6	164	△ 0.2
研究開発費	205	97	47.5	90	7.2
	16.7	15.9		11.3	
営業利益	175	79	45.7	52	53.4
営業外損益	-	5		△ 1	
	16.7	17.0		11.1	
経常利益	175	85	48.9	51	66.2
特別損益	-	2		-	
税金等調整前当期純利益	175	88	50.3	51	71.0
税金費用他	75	34	45.7	20	63.5
	9.5	10.7		6.6	
当期純利益	100	53	53.7	30	76.2



平成19年度 第1四半期決算：損益計算書の主なポイント（連結）

（単位：％）

- **売上高** +8.7
 - 医療用医薬品の売上は、 Crestor が着実にマーケットシェアを拡大しているが、既存品の「フロモックス」「フルマリン」「塩酸バンコマイシン」の売上減もあって、全体では前年比横ばいにとどまった。
 - 一方、海外の Crestor の販売拡大によるロイヤルティ収入の増加が寄与し、増収となった。
- **営業利益** +53.4
 - 研究開発費等の増加があるものの、ロイヤルティ収入の増により大幅増益。
- **経常利益** +66.2
 - 受取配当金等の増加により金融収支が改善、為替差益の発生もあり、営業外収支がプラスに転じ増益。
- **当期純利益** +76.2
 - 投資有価証券売却益3億円他。



パイプラインの進捗状況（本決算発表時以降）

開発品の追加

- S-4661（フィニバックス, カルバペネム系抗生物質）
 - ◆ 2007年3Qに国内でのPh3(小児適応拡大)を開始予定
- S-888711（低分子TPOミメティクス, 血小板減少症）
 - ◆ 2007年3QにPh1を開始予定
- S-777469（アトピー性皮膚炎）
 - ◆ 米国で5月にIND実施

開発段階の進展

- S-021812（ペラミビル, インフルエンザ感染症）
 - ◆ 2007年7月に国内でのPh1開始

導出品の状況

- S-4661（ドリペネム, カルバペネム系抗生物質）
 - ◆ 導出先のJ&J社により
2007年6月: 米国で院内肺炎の追加申請、欧州で申請

開発中止(シオノギ-GSK)

- S-364735（HIVインテグラーゼ阻害薬）
 - ◆ POC試験結果は有効性・安全性ともに良好
 - ◆ 非臨床長期安全性試験結果を踏まえ、開発を中止
 - ◆ 更に優れた特性を有するFollow Up化合物の選定ならびに臨床開発に向けて、GSKとの共同研究を継続



本資料のお問い合わせ先

本資料の将来の予測等に関する各数値は、発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づくものであり、競合状況等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

塩野義製薬株式会社 広報室

本社

TEL:06-6209-7885

FAX:06-6229-9596

東京

TEL:03-3406-8164

FAX:03-3406-8099